ボーリング柱状図

調査名	国道182号　道路災害防除事業に伴う業務委託（2工区）	ボーリングNo.	
事業・工事名		シートNo.	

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	福山市加茂町姫谷地内			北緯	
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成 28年 6月 7日 ～ 28年 6月 9日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=439.02m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 30°	使用機種	試錐機 東邦地下工機製 D－0型
総掘進長	10.00m							エンジン	ヤンマー製NFD－12型	ポンプ	東邦製BG－3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	438.22	0.80		表土・粘土質砂	黄灰色	E	Ⅶ	d			表層20cm腐葉土 風化残積土で粘性土化している 一部、細礫混入	
1	437.47	1.55	mpsl	粘性土	黄灰色	E	Ⅶ	d	ε		泥質岩の激風化帯で粘性土化している	D
2 3 4	434.82	4.20	mpsl	風化泥質岩	淡黄灰色	C～D	Ⅳ～Ⅴ	c～d	δ		2～3cmの角礫状コアを主体とする 破砕が著しい 岩質は脆く、ハンマーで容易に砕ける	
5	433.32	5.70			淡乳白色	D	Ⅳ～Ⅶ	d			2～3cmの角礫状コアを主体とする 亀裂が発達する 亀裂面沿いは酸化（褐色化）する	
6	432.82	6.20			淡黄灰色		Ⅴ	c～d			5～10cmの片状～短柱状コアを主体とする コア面はザラザラしている	CL
7 8	430.62	8.40	mpsl	風化泥質岩	淡黄灰色	D～E	Ⅳ～Ⅴ	c～d	δ		2～3cmの角礫状コアを主体とする 亀裂面沿いに粘土が付着する 破砕帯である 6.2～6.4m, 7.2～7.4, 7.75～7.85m, 8.15～8.30m間、粘土化が著しい 岩質は脆くナイフで傷つく	
9 10	429.02	10.00	mpsl	風化泥質岩	淡黄褐灰色	D	Ⅳ	c～d	δ	3～4	2～3cmの角礫状コアを主体とする 破砕が著しい コアは脆弱となる コアハンマーの打撃により砕ける	
11												

コア採取率（%）　最大コア長 cm　RQD [%]

孔内水位(m)／測定月日	（N）値	ルジオン標準貫入試験（P～QN値～深度）図 [ ]：ルジオン値 ( )：換算ルジオン値 《》：限界圧力	原位置試験（ ）	室内試験（ ）	掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(1/分)	排水量(1/分)
6/9 4.10	11	1.15～1.45 (3,3,5)			6/8	130	66／ケーシング	シングルチューブ／スタンピン	2	60			
	30	2.15～2.45 (10,10,10)				80～100			2～4	60			
	50	3.15～3.45 (6,21,23)											
	50/23	4.15～4.38 (15,24,11/3)						ダブルコアチューブ／メタルクラウン					
	50/27	5.15～5.42 (18,17,15/7)											
	50/7	6.03～6.10 (50/7)											
	50/10	7.05～7.15 (50)				120			2	60			
	50/12	8.05～8.17 (35,15/2)											
	50/4	9.02～9.06 (50/4)											
	50/4	10.00～10.04 (50/4)			6/9	100			3	60			